

フィネレノンの糖尿病関連腎臓病への臨床効果に関する研究

1. 本研究の概要

糖尿病関連腎臓病に対してフィネレノンというお薬を投与された患者さんの 1 年間の腎機能や、尿中アルブミン・尿中蛋白の変化について調査しお薬の実際の効果について検証します。また、別のお薬である SGLT2 阻害薬と一緒に使っている場合の影響に注目し、フィネレノンのお薬の効果に影響があるかについても明らかにする予定です。

2. 研究機関の名称及び研究責任者の氏名

[研究機関]：NTT 東日本札幌病院

[研究責任者]：永井 聡

[研究の方法]：

- 対象の患者さん：2023 年 10 月から 2026 年 7 月までに当科で糖尿病関連腎臓病に対してフィネレノンの投与を受けた方。
- 利用するカルテ情報：年齢、性別、糖尿病の罹病期間、糖尿病治療薬（特にフィネレノンや SGLT2 阻害薬）の処方日や投与状況、血液検査結果（腎機能など）、尿検査結果（尿中アルブミン、尿中蛋白など）

3. 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨（他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られる旨を含む。）並びにその入手・閲覧の方法

この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外で、資料のご提供や閲覧をしていただくことができます。研究全体の成果につきましては、ご希望があればお知らせいたします。いずれの場合も担当医師にお申し出ください。

4. 個人情報の取り扱いについて

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理され、研究事務局に提出されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

また、この研究が正しく行われているかどうかを確認するために、自主臨床研

究審査委員会や研究代表者から指名された品質管理の担当者(研究で得られたデータが正確なものであるかどうかを確認する者)などが、あなたのカルテや研究の記録などを見ることがあります。このような場合でも、これらの関係者には、記録内容を外部に漏らさないことが法律などで義務付けられているため、あなたの個人情報を守られています。

この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前などの個人情報に関することが外部に漏れることは一切ありません。

5. 本研究への参加を希望されない場合

ご自身の診療情報等を本研究の対象とすることを希望されない場合は、2026年9月30日までに、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。参加を拒否されても、今後の診療において不利益な取り扱いを受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

NTT 東日本札幌病院 糖尿病内分泌内科

担当医師：永井 聡

電話番号：011-623-7000（代表）